

## 小説

## 『すみれ屋敷の罪人』

降田 天 著

戦前の名家・旧紫峰邸しほうの敷地内から白骨死体が発見された。屋敷の女中や使用人たちによって明かされる、屋敷の主人と三姉妹たちのかつての華やかな生活と、その日々ひびの裏にあった軍靴の足音と共に起こった不穏な事件。二転三転する証言と嘘、白骨死体と屋敷に隠された、戦時下の真実とは。

## 小説

## 『DRY』

原田 ひ香 著

北沢藍きたざわあいは上司と不倫して、子どもを置いて家を出た。10年ぶりに実家に戻ると、男にだらしない母と、お金にがめつい祖母が暮らしていた。そして隣に住む幼馴染の馬場美代子は今は祖父をひとりで看ている。介護に尽くす彼女は孝行娘とあがめられているが、実は彼女が暮らす家には驚きの秘密が隠されていた。

## 小説

## 『とまり木』

周防 柳 著

幼いころに両親を亡くし、親戚に引き取られた青山伊津子あおやまいつこ。自分の居場所を探し続ける伊津子だが、行く先々で不幸に見舞われてしまう。一方、死んだ姉と比べられ否定され続ける少女・小林美羽こばやしみうは学校でいじめられていた。不幸に耐えきれず、命を絶つことを決意した交わるはずのない2人の人生が「ある場所」で交差する。

## 小説

## 『海苔と卵と朝めし』

向田 邦子 著

思い出の食卓、ウチの手料理、お気に入り、性分、日々の味、旅の愉しみの6章からなる29篇のエッセイと、「寺内貫太郎一家」より小説1篇を収録。ちいさなこだわり、忘れられない味、幼いころの食卓の情景から病気が治ったら食べたいものリストまで、食いしん坊な著者が送るエッセイ集です。

## 小説

## 『逃げろ、手志朗』

吉森 大祐 著

会津藩士・古畑手志朗ふるはたてしろうは、父親を何者かに惨殺された。会津藩の仲間達に、父の仇討ちのため新選組に加盟するように勧められ、流されるまま新選組隊士となる。しかしそこは作法もない猛者たちが血の雨を降らせるとんでもない集団だった。稽古では叩きのめされ、夜は慣れない花街通い。泣きそうな手志朗の前に少女が現れる。

趣味  
実用

## 『思い出の少女雑誌物語』

村崎 修三 著

今も昔も少女たちに夢と希望を与えてきた少女雑誌は、時代の流れに合わせてその内容や表現を変えながら、激動の明治、昭和を生き抜いてきた。少女雑誌を集め続けた著者が雑誌の移り変わりから、雑誌の背景にあった歴史を読み解く。

趣味  
実用『上馬キリスト教会の  
世界一ゆるい聖書入門』

上馬キリスト教会 著

Twitterで大人気のゆるアカウント「上馬キリスト教会」が、Twitterの文字数制限を飛び出して、聖書とキリスト教の世界をゆる〜く解説。ノンクリスチャンが抱きがちな素朴な疑問、教会で飛び交う謎のことば、聖書に書かれた面白いエピソードの数々、ゆる〜くキリスト教の世界に触れてみましょう。

趣味  
実用

## 『日本文学気まま旅』

浅見 和彦 著

平安時代から現代にいたるまで、数えきれないほどの旅行記が書かれています。しかし昔とは移動速度が違い、今では旅は点と点でつながり、途中の景色や町並みに触れることがほぼなくなってしまいました。日本全国どこでも素晴らしい景色や歴史に出会えることを古典や現代文学と共に著者が紹介します。

趣味  
実用『男たちよ、ウェストが気に入ったら、  
進化論に訊け!』

リチャード・ブリビエスカス 著

「中年太り」は単純に運動不足や食事の食べ過ぎによるものではなく、年齢に応じて体の構成要素が変わるからであり、それは人類の進化の上での利点ではないかという「ぼっちゃり父さん仮説」を主張する著者が、進化論と男性のウェストから、老化との付き合い方や人類の在り方を考察します。

趣味  
実用

## 『狭い部屋を楽しむ片づけのルール』

高野 ひかる 著

小さくても暮らしやすい部屋にしてみませんか？物を置きすぎるのではなく、必要な物だけを置く。片づけやすい仕組み作り、そんなアイデアを収納アドバイザーの著者が紹介。ちょっとした工夫と意識で、「小さい部屋」で快適に過ごしましょう。